

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 45' 45"	橋梁ID
				経度	135° 40' 4"	34.75917,135.66778
出入橋 (フリガナ)デイルバシ	星田山手1号線	交野市星田山手1丁目				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
交野市	2021.8.4	河川	有	一般道	その他	無し

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)						
定期点検時に記録						
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	PC定着部の異常	写真1,径間01_主桁01		
	横桁					
	床版	Ⅰ				
下部構造		Ⅰ				
支承部		Ⅰ				
その他		Ⅰ				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	横締めPC定着部の一部で腐食も進行している状況である。PC定着部の露出は水等の進入により横締めPC鋼材の腐食につながらり構造物の機能に支障が生じる可能性がある。


全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1956	14.00	4.40	
橋梁形式			
プレテン床版			

起点側

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分：Ⅲ】	【判定区分：
	
写真1,径間01_主桁01,PC定着部の異常	
【判定区分：	【判定区分：